



福田委員長を直ちに職場に戻せ!!



三和機材（株）は今こそ話し合い解決の決断を

【雇止め争議は新たな段階へ】

2022年9月、中央労働委員会（以下、中労委）5回目の調査期日において争議解決に向けた組合の和解に関する考え方を示しました。

その内容は「この争議の解決に当たっての最重要課題は、将来に向けて正常な労使関係を築く事であり、その為には福田委員長が何らな形で職場に戻る必要がある。この事が出来ないのであれば健全な労使関係の構築はありえない。そこで組合は福田委員長の職場に戻る形にはこだわらず福田委員長の職場復帰を目指し、その基本路線が確率するのであれば、福田委員長の労働条件やその他の条件に付いては今後労使で協議を重ねる事で調整したいと考えている。」こうした和解に対する組合の考えに会社は、持ち帰り検討する事でこの日の調査は終了しました。

【10・7 司法総行動】

10月7日、全労連および自由法曹団などが主催する司法総行動に参加し中労委に対して9月の調査で行われた「組合の和解に対する考え方」を実現する事により、良好な労使関係の構築を目的とする中労委にその役割を果たすよう要請しました。同時に使用者側への和解が整うよう説得も含め、指導の要請も合わせて行いました。

【三和機材（株）への争議の早期解決を迫る取り組み】

会社に対して、争議の早期解決を求めて左記の日程で要請行動を行います。秋季年末闘争でお忙しい所ですが、何卒、ご支援をお願いいたします。また、中労委に対する、福田委員長の『雇止め事件』の公正な判断を求める団体署名および個人署名に今後とも合わせてご支援をお願いいたします。

記

※ 三和機材本社前ロングラン要請行動

- 日時 2022年11月22日（火）
- 1回目… 8時30分～9時まで。
 - 2回目… 13時～13時30分。
 - 3回目… 15時～15時30分。
- 16時から中労委要請

※ 全労連・東京地評争議支援総行動

- 日時 2022年12月1日（木）
- 場所 三和機材（株）東京本社前
- 出口A4又はA5
- 14時45分～15時10分
- 日比谷線八丁堀駅

